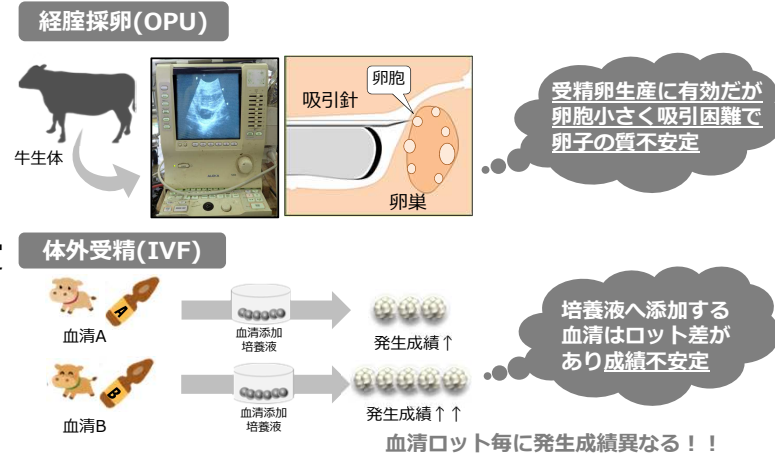


新 経膈採卵を活用した高品質な牛体外受精卵生産技術の開発(R5~7)

背景・目的

- 甲州牛増頭には優秀雌牛からの受精卵生産が有効
- 経膈採卵(OPU)は体内採卵成績が不良な牛でも何度も体外受精卵生産が可能だが、吸引が難しく卵子の品質に課題
- OPU後の体外受精(IVF)に通常用いる培養液は成績が不安定

→甲州牛増頭には安定的な体外受精卵生産が可能となる
新たなOPU-IVF技術の開発が有効

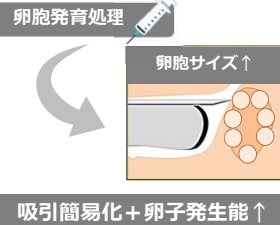


研究内容

1~2年目

①卵胞発育処理によるOPU-IVFの簡易化及び発生成績向上試験 (R5~6)

卵子吸引の簡易化と卵子の品質向上が可能なOPU実施前の卵胞発育処理法を開発



②体外受精卵生産に適した無血清培養液の開発 (R5~6)

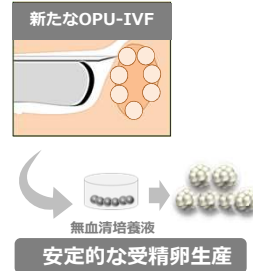
生産成績安定化のため牛血清を含まない体外培養液の開発



3年目

③卵胞発育処理OPU-IVF技術の実証 (R7)

新たなOPU-IVF技術で受精卵生産が可能か実証



期待される効果

- 高品質体外受精卵による甲州牛増頭
→体外受精卵年間50個の増産
甲州牛年間20頭の増頭

- 優秀な遺伝子を持つ雌牛の利用による高品質な肉用牛の生産

- ホルスタイン種への受精卵移植で酪農経営の所得が向上

